

4. 測定例

図 2 は Diamond Like Carbon (DLC) を測定した例である。ブロードなスペクトルであるが、測定器にてピーク分離を行うことで試料の結晶状態が判別できる。

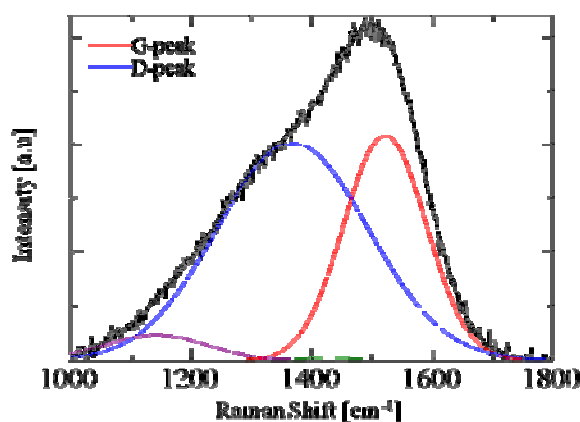


図 2 顕微ラマン分光測定例

5. 測定

- ・測定はライセンス所有者（ライセンサー）が行って下さい。
- ・ライセンサー以外の使用は認めません。
- ・不明な点は顕微ラマン分光測定器の管理者にお尋ね下さい。

6. 申し込み

- ① 材料創造研究センターに掲示されている月別予約表で確認・記入し、申込書に必要事項を記入して下さい。申込書は当センターにあります。
- ② 使用期間は1時間を1単位とします。

7. 使用方法

- ① 顕微鏡の対物レンズ保護のため、サンプルサイズは、縦×横×高さ = 50mm×50mm×10mm以下のものを準備してください。
- ② レーザー光源の電源スイッチ用のキーは811室にあります。
- ③ レーザー出力を安定させるため、レーザーの電源スイッチを入れた後30分待ってください。
- ④ レーザーの出力は20mW以下で使用してください。
- ⑤ 顕微鏡の扱いには注意してください。顕微鏡のシャッターやミラー切り替えを粗末にあつかうと、光軸がずれてしまい、正確な測定ができなくなってしまいます。
- ⑥ 測定室利用中は、ライセンサーが責任を持って同室の管理をして下さい。特に、土足での入室、室内の飲食は厳禁です。また、ゴミは廊下のゴミ箱に捨てて下さい。
- ⑦ 測定データは、測定者が責任を持って管理して下さい。データ紛失、損失につきましては、装置管理者および分析センターでは一切責任を負いません。
- ⑧ 測定終了後は、装置仕様報告書に必要事項を記入の上、当センターに速やかに提出してください。